

日本学術会議・日本地理学会
公開シンポジウム

「地理総合」 で何が変わるか

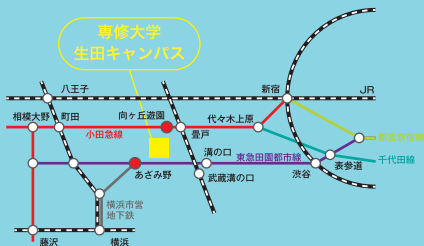
2022年度から高等学校の地理歴史科において、「地理総合」・「地理探究」が新設され、「地理総合」は「歴史総合」とともに必修化となる。本公開シンポジウムでは、「地理総合」が導入されることによって、日本の地理教育はどのように変わっていくかを議論する。そして、現場となる初等・中等教育だけでなく、教員養成を担う大学教育や関係省庁が取り組むべき様々な課題を整理し、新しい地理教育を今どのように推進すべきかを提案する。

参加費無料
事前登録不要

日時 |
平成31年 **3月21日** [木・祝] 9:00-15:00

会場 |
専修大学 生田キャンパス
10号館1階 (第1会場)

<https://www.senshuu.ac.jp/about/campus/kuta.html>



主催：日本学術会議地域研究委員会地球惑星科学委員会合同地理教育分科会
共催：日本地理学会 地理教育専門委員会、災害対応委員会
後援：地理学連携機構
問い合わせ先：矢野桂司 yano@it.ritsumei.ac.jp TEL.075-465-1957

第一部

「地理総合」とは何か？

日本地理学会 地理教育専門委員会【井田 仁康・秋本 弘章・浅川 俊夫】

- 9:00- 「『地理総合』とは—その特徴」(趣旨説明)
井田 仁康(日本学術会議特任連携会員、筑波大学人間系教授)
- 9:10- 「地図/GISの特質と課題」
秋本 弘章(獨協大学経済学部教授)
- 9:20- 「地図/GISの支援—普通教室も利用可能な教材開発」
鈴木 瑛莉(ESRI ジャパン株式会社)
- 9:40- 「地図/GISの実践—普通教室での学習事例」
河合 豊明(品川女子学院教諭)

第二部

「地理総合」と防災：何をどう教えるか？

日本地理学会 災害対応委員会【久保 純子】

- 10:05- 「『地理総合』で防災がどのように扱われるか」(趣旨説明)
久保 純子(日本学術会議連携会員、早稲田大学教育・総合科学学術院教授)
- 10:20- 「ハザードマップをどう扱うか」
南雲 直子(国立研究開発法人土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター専門研究員)
- 10:35- 「地理院地図の活用法」
岡谷 隆基(国土交通省国土地理院企画部研究企画官)
- 10:50- 「自然地理的基礎をどう教えるか—課題と展望—」
須貝 俊彦(東京大学大学院新領域創成科学研究科教授)
- 11:05- 「『地理総合』を教えられる教員をどう育てるか」
村山 良之(山形大学大学院教育実践研究科教授)
- 11:20- 「『地理総合』で教えるべき防災とは」
長尾 朋子(東京女学館教諭)
- 11:35- 総合討論〈司会：久保 純子〉

12:00-12:20

国際地理オリンピック選抜大会表彰式

第三部

緊急提言—「地理総合」で何が変わるか

日本学術会議地域研究委員会地球惑星科学委員会合同地理教育分科会【矢野 桂司・井田 仁康】

- 13:00- 「『地理総合』で何が変わるか」(趣旨説明)
矢野 桂司(日本学術会議連携会員、立命館大学文学部教授)、
井田 仁康(日本学術会議特任連携会員、筑波大学教授)
- 13:05- 「汎用・基盤的データの存続と地理教育」
橋本 雄一(日本学術会議連携会員、北海道大学大学院文学研究科教授)
- 13:20- 「『地理総合』におけるGISに関する教員研修・教育実習」
小林 岳人(千葉県立千葉高等学校教諭)
- 13:35- 「中学校から高等学校『地理総合』への接続」
青柳 慎一(久喜市立栗橋西中学校教諭)
- 13:50- 「中高接続を踏まえた高校地理教育の工夫」
須原 洋次(龍谷大学文学部教授)
- 14:05- 「『地理総合』における自然地理と防災」
鈴木 康弘(日本学術会議連携会員、名古屋大学減災連携研究センター教授)
- 14:20- 「『地理総合』における国際理解とは」
岡橋 秀典(日本学術会議連携会員、奈良大学文学部教授)
- 14:35- 総合討論〈司会：矢野 桂司〉
- 15:00 閉会